

放射能対策を強化

子どもたちの未来のために

市は、1月から施行された「放射性物質汚染対処特別措置法」に基づき、我孫子市放射性物質除染計画(第2次)を4月13日に策定しました。

今後、この計画に基づき、学校や保育園など子どもたちの生活空間を最優先して引き続き、除染を行っていきます。また、内部被ばく測定への助成、農産物や給食食材の検査体制など放射能対策を強化します。

放射性物質除染計画を策定

放射性物質汚染対処特別措置法に基づき「我孫子市放射性物質除染計画(第2次)」を策定しました。
 本計画に基づき、国から財政支援を得ながら、子どもたちの生活空間を中心に除染を進めていきます。
 除染計画の概要は、今号に折り込みの「放射能対策ニュース」をご覧ください。
 放射能対策室 ☎7185-2495

小・中学校の除染は8月末までに完了



我孫子市長 星野 順一郎

我孫子市は、昨年12月に「放射性物質汚染対処特別措置法」による汚染状況重点調査地域に指定されました。これを受け、市は、4月13日に国の承認を得て「我孫子市放射性物質除染計画(第2次)」を策定しました。計画では、市内全域を対象とし、平成25年度末までに除染を完了させる予定です。

特に、学校や保育園など子どもたちの生活空間については、8月末までに除染を完了させます。民有地(戸建住宅)の除染は、10月から就学前の子どもを持つ家庭を優先して行う予定です。また、内部被ばく測定の助成、市内農産物や給食の放射性物質検査体制など、引き続き放射能対策について、全力で取り組んでいきます。市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

妊婦・中学生以下を対象とした内部被ばく測定費用の一部を助成

ホールボディカウンタ(内部被ばく線量測定器)の測定費用の一部を助成します(詳しくは、放射能対策ニュース2面参照)。
 測定助成対象期間 4月1日～平成25年2月28日
 健康づくり支援課 ☎7185-1126

測定器を複数日貸出し

市民の皆さんから、各自で除染作業などを行う際に放射線量測定器の複数日貸出しを希望する声が多かったことから、希望者には、2日～4日の範囲で貸出しを行っています。
 放射能対策室 ☎7185-2495

給食食材の検査を週4日に強化

5月上旬に測定器を1台購入し教育委員会に設置することにより、給食食材の使用前検査および給食丸ごとミキサー検査の充実を図ります。
 なお、放射性物質が検出された食材は、今後も給食に使用しません。
 教育委員会・学校教育課 ☎7185-1126

食品中の放射性物質の新基準

厚生労働省では、4月1日から食品中の放射性物質の新基準を施行しました。新基準値は、次のとおりです。市の測定器の検出限界値はセシウム134、137それぞれ1kgあたり10ベクレルですので、新基準に対応しています。

放射能対策室 ☎7185-2495

旧基準(暫定規制値)		新基準	
食品群	基準値	食品群	基準値
飲料水	200	飲料水	10
牛乳	200	牛乳	50
野菜類、穀類、肉・卵・魚・その他	500	一般食品(農産物など)	100
		乳幼児食品	50

※数値は放射性セシウム134と137の合計値(単位はベクレル/kg)

ぽけっとランドあびこ保育園が開園

市では、保育園の定員を計画的に拡大し、待機児童ゼロの堅持に努め「子育てしやすい」まちづくりに取り組んでいます。

4月から我孫子駅北口に学校法人三幸学園の協力を得て、定員120人の「ぽけっとランドあびこ保育園」が開園しました。

園では、通常保育に加え、乳児保育(57日から入園可)、午前7時から午後8時までの延長保育、一時預かりなども実施しています。また、給食をバイキングにしたり、リズムを使って音楽をからだで体験し、想像力や表現力を養い心とからだの調和を作り出すリトミック教育などに取り組んでいます。

市内で12園目の民間保育園となりますが、民間ならではの保育サービスを実施し、この地域の子育て支援拠点施設として期待されます。

保育課・内線445



水道事業管理者に 峯岸 幹男氏



中野洋水道事業管理者の退任に伴い、4月1日付け

で、新たに峯岸幹男氏が水道事業管理者に就任しました。
 峯岸氏は、昭和51年4月に我孫子市役所に入庁し、企画財政部参与、企画財政部長などを歴任。昭和27年9月1日生まれ。59歳。

中野 洋 水道事業管理者が退任



平成24年3月31日をもって、水道事業管理者の中野

洋氏が退任しました。
 中野氏は、地域振興防災課長、建設部長、総務部長などを歴任後、平成20年7月1日に水道事業管理者に就任し、3年9か月間務めました。